

メルマガ ～美人ショップ店員の連絡 先を訊き出す～

【主な内容】

【9】 件名：「非モテ→モテ」に進化する瞬間

※△△

〇〇

高橋りょうです。

今日は、タイトルにもある、
「進化」について、過去の僕の話をしてします。

...

僕にも、
「非モテ」だった時代があります。

中学生の頃です。

当時、クラスメイトに、
ジャニーズ系のイケメンで、運動神経も良く、
女子に人気の男がいました。

中学生というと、

見た目と運動神経が良ければ、モテる、
という側面が強いため、
性格面は、あまり重要視されません。

そいつは、
弱いものイジメをする、性格が
若干歪んだ男でした。

当時の僕は、

✓ 内気

✓ 怖がって喧嘩できない

✓ お世辞にも、勉強はできる、とは言えない

✓ でも、プライドだけは高い

そんな、弱い存在だったこともあり、
そいつのいじめのターゲットになってしまったこと
があります。

最後の、プライドが高い、が
何気にポイントで、

そのクラスメイトに、

「お前、これやれや！」

と、何かの当番を決めるとき、

命令系でムリヤリ押し付けられたことがあり、
それに反発して、

「嫌だし…」

と、か細い声ながら、
彼の命令に背いたことがありました。

それがきっかけで、彼の
いじめのターゲットになってしまいました。

- ✓ 購買でノートを買うためのお金を盗まれる
- ✓ 机に「死ね」と書かれる
- ✓ 「調子に乗るな」とヘッドロックされる
- ✓ 周りの奴らを巻き込んで、自分の悪い噂を流され

る

いろいろ仕打ちを受けたことを、
イジメられた側の僕は、よく覚えています。

彼は、女子に人気だったため、
彼からいじめのターゲットになる、

ということは、つまり、

彼を支持する特定の女子からも、
嫌われる、ということになります。

ここが、残酷なところ。

「キモっ…！」

「ばい菌、こっち来んな。」

どちらかというと、
男子にモテるかわいい系の女子から
そう言われたことが、今でも心の古傷として残っています。

「なぜ、そんなことを言われたいといけないのか…」

当時は全く分からなかったのですが、

しかし、今の自分に自信なんてなかったその頃の僕は、
その言葉を、真に受ける結果となりました。

今の自分の姿、考え方、ふるまい…

全てが、女子から見て「キモい」ものだという
レッテルを、自分に貼るようになりました。

ただ、その頃だったと思います。

「今の自分を変えたい…っ！」

と、強く思い始めたのは。

これは、作用反作用の法則のようなもので、
マイナスの方向に、レッテルを貼ってしまった分、

反動として、自分自身に対して、強く、
「力」を求めたのです。

- ✓ 自分をイジめるクラスメイトを黙らせる力
- ✓ 自分を「キモい」と罵（ののし）る、
生意気な女子どもを見返す力

そうしたものを求めました。

“強い男になりたい…っ！”

これは、成功哲学のような
話になるのですが、

「非モテ」から、「モテ」に進化する時、
現実には何も変化が起きていない、
初期の頃であっても、

頭の中には、
女性にモテている、「理想の自分」が、
イメージとして存在します。

「ああ、おそらく女性にモテる男は、
こんなふうに、物事を考えるんだろうな。」

「こんなふうに、日々を生きているんだろうな。」

「タイプの女性がいたら、
こんなふうに対応するんだろうな。」

といった感じで、
なんとなく、それをイメージしています。

しかし、そのイメージは、
ある日いきなり降ってくる、
なんて、オカルト的な話ではなく、

ちゃんと、論理的に説明できる理由があります。

「力」を求めるようになると、

すでに「力」を手になっている理想の人に、
自然と興味を持つようになります。

- ✓ 女性にモテる男性
- ✓ 特定の女性から嫌われても、ブレない男性
- ✓ 悪いものは、悪いと言える強い男性
- ✓ 自分の生き方を持っている男性

そうした人を、
リアルの出会いや、テレビや、ネットなどで見つけ、

その人の、

- ✓ 行動
- ✓ ふるまい
- ✓ 発言

などを、よく観察して、
そのイメージを、
頭の中にインストールしていきます。

すると、理想の自分の
全体像が出来上がってくるので、

今度は、それを現実化しようと、
無意識が、自分自身をそっちの方向へと、
勝手に持っていこうとします。

「思考は現実化する」

かの有名な、
ナポレオン・ヒル氏の格言です。

これは僕も、体験済みです。

だからこそ、
力強くあなたのお伝えすることができます。

「方法論に沿ってやれば、あなたも、必ずできます。」

と。

...

もし、あなたが、気になる女性がいても、
いつも見送ることしかできない自分をもどかしかったり、

すぐに、諦めそうになる自分が嫌いだったり、

この先、好きな女性を射止めることは、
一生無理だとネガティブにしか、思えていないのなら、

この機に、決着をつけても良いのではないのでしょうか。

...

僕は、
中学生だったあの頃に求めた、

男としての強さを、全て手に入れることができました。

ただ、当時は自己流で、
いろいろ回り道をしながらやっていたこともあり、

達成するのに何年もかかってしまいましたが、

しかし、今、
絶賛メンバー募集中の

Winning the hearts

—女心を掴み取る、3つのアプローチ—

では、
僕が何年もかかって遂げた進化を、

たった3ヶ月で、達成してもらうための
教育プログラムとして構築してあります。

今回話した「進化」の話や、
「思考は現実化する」の話で、

あなたの中に、だいたいの全体像の
イメージが浮かんだと思います。

それを、もっと具体的に、
体系的な知識として、
この教材の中では、詳しく語っています。

...

引き続き、
メンバーを募集しています。

ほんの少しの勇気で、
あなたの未来を変えてください。

Winning the hearts

—女心を掴み取る、3つのアプローチ—

<URL>

ではでは、今回はこの辺で。

ありがとうございました。

高橋りょう